

研究実施における情報公開 (多施設との共同研究)

研究の名称；高度顎堤萎縮患者へ実施した上顎洞底挙上術同時インプラント埋入術のインプラント体残存率に関する臨床的評価 (承認番号 EC 18-031)

研究機関・所属・講座； 学校法人日本大学・松戸歯学部・感染免疫学講座

研究責任者； 専任講師・齋藤 真規

研究期間；平成31年 5月 ～ 平成36年 4月

1. 研究対象者

共同研究施設（いがらし歯科医院）にて2004年4月～2014年3月までの間に上顎洞底挙上術同時インプラント埋入術（一回法）を受け、3.5年以上経過した方

【語句説明】

- ・上顎洞底挙上術：人工歯根であるインプラント体の挿入スペースを確保するために上顎の骨量を増やす骨増成手術
- ・同時インプラント埋入術：サイナスリフトなどの骨造成手術と同時にインプラント体を埋入する方法

2. 研究目的・意義

上顎骨にインプラントを埋めるために必要な厚い骨が無い症例にはサイナスリフトという特殊な方法で骨量を増やします。サイナスリフト後は、骨が増えるまで半年程度待機した後にインプラントを埋入する方法（二回法）が推奨されています。しかし、上顎骨に残存する骨が薄い症例に対してサイナスリフトと同時にインプラントを埋入する方法（一回法）が長期的に予後良好であるという文献も散見されます。そこで、上顎の骨が薄い症例と骨が厚い症例において一回法を行い、両者ともにインプラントが脱落せずに長期的に安定して残こせるか検討します。

この研究で得られる成果は、来院回数や費用負担の軽減が期待できるようになります。

3. 方法

診療録（カルテ）の情報を比較検討に解析することにより、インプラントの残存率に影響を与える因子を検討します。

4. 研究に利用・提供する試料・情報等とその取扱い

情報：診療録情報（年齢・性別・既往歴、診断名、X写真、CT画像、口腔内写真）

5. 外部への試料・情報の提供

〔主な提供方法〕 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

共同研究機関への解析結果の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。また、対応表は、共同研究者（いがらし歯科医院・院長・五十嵐三彦）が保管・管理します。共同研究施設（いがらし歯科医院）で個人を特定できないよう匿名化した診療録情報を日本大学松戸歯学部が受け取り、解析を行います。

6. 研究組織

1. 日本大学松戸歯学部・感染免疫学講座・専任講師・齋藤真規（研究代表者）
2. 日本大学松戸歯学部・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学講座・准教授・村上洋
3. 日本大学松戸歯学部・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学講座・専任講師・玉木大之
4. 日本大学松戸歯学部・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学講座・特任教授・加藤仁夫
5. 日本大学松戸歯学部・クラウンブリッジ補綴学・口腔インプラント学講座・兼任講師・助川洋
6. 日本大学松戸歯学部・組織学講座・教授・岡田裕之
7. 日本大学松戸歯学部・組織学講座・兼任講師・水口稔之
8. いがらし歯科医院・院長・五十嵐三彦

7. お問い合わせ先

本研究は、倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には匿名化処理を行い、安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。研究の詳細をお知りになりたい場合は、下記までお問い合わせください。他の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書等を閲覧することが出来ます。

本研究で得られた成果を専門の学会や学術雑誌に発表する可能性があります。成果を発表する場合には、研究に参加していただいた方のプライバシーに慎重に配慮します。個人を特定できる情報が公表されることはありません。

なお、研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の試料・情報を「この研究で利用して欲しくない」と思われた場合にも、その旨をご連絡下さい。ご了承いただけない場合には研究対象といたしません。また、その場合でもご自身に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ先>

研究責任者：日本大学松戸歯学部・感染免疫学講座・専任講師・齋藤 真規

電話番号：047-360-9342

共同研究者：いがらし歯科医院・院長・五十嵐三彦

電話番号：028-673-6661

-----以上